

2025年度 第1回 複合型サービスきょうりつ（看護小規模多機能型居宅介護）  
運営推進会議

日 程：2025年5月23日（金） 14:00～14:45

場 所：複合型サービスきょうりつ 家族談話室

出席者： 綾部市高齢者支援課：久下 祐介様  
中部地域包括支援センター：中野 多加子様  
サロン広楽：梶村 隆三 様  
複合型（管理者）：白波瀬 実  
複合型（看護職員）：大槻 美智代

欠席者：無し

1、報告事項

- ・4月度実績：延べ登録者数 25名  
延べ短期利用 0名
- ・平均介護度：3.12
- ・利用地域：黒谷、広小路、篠田、館、大島、位田、味方、栗、駅前、本町、  
物部、岡、中ノ町、上野、青野、下八田、安国寺、神宮寺、高津  
( )…新規
- ・サービス別 延べ提供数  
通い：443回 泊り：181回 訪問（介護）：242回 訪問（看護）：19回  
全サービス提供回数：885回（一人あたり週平均サービス提供回数：7.3回）

（前回2月の実績）延べ登録者数 24名 短期利用0名 平均介護度 3.21  
通い：378回 泊り：161回 訪問（介護）：218回 訪問（看護）：15回  
全サービス提供回数 772回（一人あたり週平均サービス提供回数 7.0回）

- ・利用状況…新規利用者 2名（退院後利用）  
終了・中断利用者 3名（長期入院2名、自宅看取り1名）
- ・サービスごとの特徴  
通いサービス…1日平均 14.8回（前回13.5回）  
泊りサービス…1日平均 6.0回（前回5.8回）  
訪問（介護）…1日平均 8.1回（前回7.8回）  
訪問（看護）…1日平均 0.5回（前回0.5回）
- ・利用者の状況…  
終了さる方と新規利用者ともに複数名あった。自宅での介護が困難なため、連泊での利用者となっている方が増えている。

## 2、介護サービスの状況。

退院後、帰宅されることが心配な方は病院から直接泊りサービスを利用されるケースや、長期入所の待機者の利用あり。泊りサービスの日数については上限が無いが、週に1日は帰宅できることを利用条件としている。特別な状況で帰宅できない場合は柔軟に対応している。老人保健施でも長期入所を待機される方あり。複合型は地域密着型サービスであるため、市内に住所があることが利用条件となっている。

自宅で過ごされる場合でも安心して過ごされるよう、訪問サービスを多く提供することができる。介護だけではなく、全国的にどの業種も人材不足が進んでいる。

## 3、地域の状況・課題・要望・助言等

夏場の気温が高くなる状況から地域の見守りについて意見交換。民生児童委員が地域の高齢者宅を塩アメなどを持参して見守り・声掛けを行っておられる。高齢者や認知機能の低下によりエアコンが上手に使用できない事例が多く聞かれる。地域のサロンでも熱中症予防についての啓発を行っておられる。朝夕の寒暖差が大きい時期は健康管理が難しい。

毎月開催のひだまりカフェ（認知症カフェ）の運営状況について報告。月1回の運営となっている。運営体制に限りがあり回数を増やすことは困難。毎年診療所の取り組みとして熱中症予防調査を行っている。

民生児童委員による訪問は地域により対応に差がある。勤めをされている方やなり手が無く高齢化が進んでいることなどの理由が考えられる。高齢者の徘徊に対して地域の見守り体制を強化するため防犯カメラの設置が進んでいるとの情報あり。地域ごとに工夫して見守りを行っておられる状況を交流した。

民間の住宅メーカーや警備会社などでも見守りサービスが広がっている。見守りサービスの費用について市の補助金制度あり。配達物の牛乳や新聞・郵便物が溜まっている方を通報するような連携も進んでいる。

## 4、その他

複合型サービスの外出行事やご利用の様子を写真で紹介した。

○ 次回、運営推進会議日程 2025年7月25日（金）14時～  
※第4金曜日

以上